

令和元年度第3回 茨城支部評議会 議事概要

開催日	令和2年1月17日 金曜日 15:00~17:00
開催場所	水戸京成ホテル 4階 若葉の間
出席評議員	川上評議員、日下部評議員、坂本評議員、柴田評議員、野澤評議員、舟木評議員、宮田評議員、柳生評議員、葉評議員（五十音順）
事務局	支部長、企画総務部長、業務部長、企画総務グループ長、保健グループ長、レセプトグループ長、業務グループ長、企画総務グループ長補佐、企画総務主任、企画総務スタッフ
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度保険料率・インセンティブ制度について 2. 令和2年度茨城支部事業計画（案）について 3. 令和2年度茨城支部保険者機能強化予算について
議事概要 (主な意見等)	<p>1. 令和2年度保険料率・インセンティブ制度について</p> <p>資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。</p> <p>【学識経験者 A】</p> <p>令和2年度茨城支部の保険料率の見込みが前年度に比べて0.07%下がった要因について、どのように分析されているのか。</p> <p>《事務局》</p> <p>茨城支部の場合、全国と比較して医療費の伸び率が抑えられたことが要因として考えられる。今後も医療費を抑えることができれば保険料率を抑えていけると思われる。</p> <p>【学識経験者 B】</p> <p>インセンティブ制度に関する茨城県の理解度が低い。このことについて、理解度を高めるための広報をすることによって、加入者理解度を促進できるのかという見通しを教えてください。</p> <p>《事務局》</p> <p>インセンティブ制度そのものについて、まだ一般加入者になじみが薄い。茨城支部としては、インセンティブのそれぞれの評価指標が重要であることを伝えつつ、例えば、「健診を受けましょう。受けた場合に保険料率の軽減につながる可能性があります」といったように、直接にインセンティブという言葉を使わなくても、保険料率を下げることに繋がる取り組みを周知するような内容の広報をする。すでに納入告知書チラシやメールマガジンにて取り組んでいるが、実際アンケート結果のようにまだまだ理解度が低いため、広く周知広報していく。</p>

【被保険者代表 A】

支部長の挨拶のなかで、令和 2 年度の介護保険料の料率が上がるという話があったが、2025 年問題ではこの辺りがどうなっていくのか、予想などしていれば教えていただきたい。

《事務局》

前回の評議会にて保険料率に関するシミュレーションを示させていただいたが、そのなかでは給料の上昇がどうなるかというのが関わってくるが、平均保険料率 10%維持でも早ければ 2023 年度には単年度収支が赤字になるというような結果を踏まえて、協会としては保険料の設定を引き続き中長期的に行っていく考え方である。

→茨城支部の令和 2 年度保険料率が 9.77%となることについて異議なし。

2. 令和 2 年度茨城支部事業計画（案）について

3. 令和 2 年度茨城支部保険者機能強化予算について

資料に基づき議題 2、3 をまとめて説明し、評議員よりご意見いただいた。

【事業主代表 A】

KPI の数値が前年と比較し、コンマ 1 単位で増えていたりと細かく設定されているが、この部分についての考え方についてお伺いしたい。また、事業計画（案）の個々の内容については、新規項目が含まれていたり、詳細に内容が詰められているので、工夫されて事業が進められている印象を受けた。予算についても同様に分かりやすくまとめられている。

もう一つの質問として、業務を進めていくうえで、人員不足が課題としてあると思われるが、協会けんぽの標準人員に基づく人員配置についての考え方を教えていただきたい。

《事務局》

毎年度 KPI の数値目標を掲げており、実施した結果の課題や改善点を挙げて、次年度の KPI に反映させている。基本的には前年度よりも上乗せして設定している。実際の各事業を分析した結果、どのくらい上乗せできるかを検討し、できるだけ上乗せできる数値を示し、本部のほうで KPI が適正かどうか精査したうえで決定されている。

【事業主代表 A】

KPI の数値は本部で承認をもらうのか。支部だけの考え方だけでなく、本部の考え方も入ることか。

《事務局》

おっしゃる通り。まず各支部で案を出し、その KPI に本部で調整が入る。すべての項目において、次年度の KPI の策定に当たっては、全項目における考え方や前年度以上に設定するというように本部からガイドラインがきており、それをもとに支部として策定している。

《事務局》

標準人員については、3年ほど前から支部の業務量を俯瞰して本部より定められている。

【事業主代表 A】

ちなみに茨城支部の人員配置はどういった傾向なのか。増員または減員傾向なのか。

《事務局》

事業計画にあるように、基盤的業務を効率化し、その人数を戦略的業務に回す考えなので、大きく人数が変わるということはないが、重点を戦略的保険者機能に向けるために基盤的業務の効率化を進めていく考え方である。

【学識経験者 A】

事業計画（案）のなかで、ナッジ理論を活用したリーフレットやチラシを作成とあるが、具体的に協会けんぽの場合だとどのような内容なのか。

《事務局》

すでに始めているものとしては、つくばエクスプレスの窓上広告のポスターにナッジ理論を活用している。ポスターの内容はジェネリック医薬品の使用促進であり、その文言として、「すでに7割以上の方が使っています」ということを示し、皆が使っているので自分も使おうというように、強制するのではなく誘導させるような文言である。今後もこういう言い方をされると、見た方はどう思うのか、そういったところを広報に活用していきたいと考えている。

【事業主代表 B】

マイナンバーカードの健康保険証としての利用が来年3月から始まり、オンライン資格確認がされるが、病院や薬局に導入されるための費用や補助はあるのか。

《事務局》

令和元年6月に閣議決定された成長戦略フォローアップのなかで、マイナンバーカードの普及と利活用の推進の項目があり、そのなかでは、マイナンバーカードの健康保険証としての利用を2021年3月から本格的導入し、それに合わせて、2022年度中に全国の医療機関に早期かつ円滑に対応できるように読み取り端末などのシステムの導入の支援をするという文言はある。

協会としては、リアルタイムでオンライン資格確認できることで資格喪失後受診を防ぐことにつながるので、加入者にマイナンバーカードが健康保険証としての利用ができることを周知していきたい。

【事業主代表 C】

コラボヘルス事業経費のなかに、健康経営推進のための講師派遣があり、宣言事業所が対象とあるが、協同組合も利用することは可能なのか。

《事務局》

講師派遣は、健康宣言をして茨城支部の健康づくり推進事業所として認定を受けた事業所が対象。

しかし、協会としてもご相談があれば協同組合を通して健康経営の普及へ繋がる取り組みをしていきたいので、対応できるものがあれば協力させていただきたい。

【事業主代表 B】

健康保険事業というのは公共性があるので、広報の媒体として、例えば、テーマとして健康経営やジェネリックなどを NHK 水戸放送局にアピールして取り上げてもらえると効果があると思われる。

【学識経験者 B】

茨城支部保健事業予算の新規事業として健診推進経費が加わり、健診機関への報奨金とあるが、どのくらいの健診実施件数に対してなのか。

《事務局》

まだ策定中の段階。バランスを考えながら詰めさせていただいており、中身がまとまり次第、報告したい。

【学識経験者 C】

取り組みとして、地域医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信を行っているが、協会けんぽはいろんなデータを持っている。そのデータに基づいて、分析等も行っていると思うが、そういうデータを活用していただいて、どんどん意見発信し、より良い制度設計をしてほしい。

【事業主代表 A】

お薬手帳カバーはいくつ作成されたのか。来年度も作成するのか。

《事務局》

今年度は1万5千ほど作成。今年度はジェネリックの使用割合が低い地域の調剤薬局へ配布予定である。来年度も作成予定だが、配布先はまだ検討中。予算で作れる範囲で作成し、効果的に配布していきたい。

→令和2年度茨城支部事業計画（案）、令和2年度茨城支部保険者機能強化予算について異議なし。

特記事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・傍聴者 1名・次回（令和元年度 第4回）は令和2年3月に開催予定 |
|--|